

報告

佐伯史談会の新しい態勢

— 組織活動の前進のため —

わが史談会も二十年の歴史と、通算百三十四号の機関誌発行と、四百五十名超す会員を擁し、郷土史研究団体として、かなり膨大な組織となっている。したがってその運営、とくに研修活動の推進や、諸事業の運営、会誌の編集発行、その他もろもろの事務取扱きなど、と云てい少敷二三のものに手は負えなくなつた。

そこで去る一月十六日の佐伯文化会館での評議員会に提案して、おおよそ次のような態勢による、新しい運営機構を考へて提案し、全員の承認を得た。委員の所属、分組は一応事務局の方で勘案、これに随時一般会員の参加協力をお願いしたい。

なお機関誌「佐伯史談」の発行は、強化した事務局で担当するが、年内には独立の一部局にしたいと考えている。

評議員諸氏の、今後の活ばつた取組みを期待したい。

前進のための運営部局

総務部

会の全般的・基本的な企画とその推進
研修や諸般の事業、事務処理等の総括指導
地域社会・文化諸団体等との交渉
其の他重要な事項を処理する

総務委員

高木・羽柴・清田・岩田
古藤田・山下・富沢・山本

平川

研修部

研修諸会の立案とその推進
史跡めぐり・研修旅行等の主宰
個人研修の奨励
地区研修会の勧奨等

研修委員

清田・岩田・高橋
古藤田・軸丸・塩月
猪方・神田・高宮

事業部

特別行事の企画と推進
地域社会への奉仕活動
史跡や自然や文化財をまもる活動

事業委員

平川・津矢・大良・益西
休石・小野・本田
富高・河野・五十川

事務局

機関誌「佐伯史談」の編集・印刷・発行
文書事務の処理 通信連絡
会計・経理一切 其他庶務一班

事務局員

羽柴・加藤・川野
市野・小野・寺島

会計委員

山本・藤田・岩田

新しい態勢を右のように定め、とりおえず今年度の評議員幹事の方々の分組所属をお願いする次第である。
評議員の方以外、会の幹事として、協力をお願いしたい。分組所属は一応の手分けで、事に当たっては誰でも奉仕の気持ちで、協力して会の仕事を推進してほしい。

なお、この部局の仕事はさらに厚付けして、生々発展してゆく佐伯史談会の一層の飛躍を期待するものである。